

令和5年度事業計画

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

昨年度に発足したパレット標準化推進分科会の協議が進み、物流の2024年問題がメディア等で報道されるようになり、パレットに対する関心や、その利活用に関する問題意識が高まりつつあります。

本年度は、会員各社がこのような状況において最適なパレット（サービス）を産業界に提供できるように、これまでも増して「協会のあるべき姿」を会員企業、関係協会と団体、関係官庁との連携等により、常に見据えながら着実に歩みを進めます。そして、以下の通り協会事業を計画しました。

<共通テーマ>

持続可能な物流を実現するため、国内外の関係先と連携して、パレットの有効活用と社会的認知向上を推進する。

<事業計画>

1. 国内活動

- 1) パレットを基軸とした物流標準化の推進 による2024年問題の解決
 - ・国交省「官民物流標準化懇談会」、「パレット標準化推進分科会」と連携
 - ・パレット循環利用促進の論点整理と標準パレットのJIS規格整理
 - ・JPAマークを基礎とした認定制度の再構築
- 2) パレットに関する広報活動の充実で発信力を強化する
 - ・記者会見の定例化と積極的なニュースリリース
 - ・セミナー等のイベントの開催で一般社会へのパレットの理解を促進
 - ・HPやSNS媒体を活用した広報の多様化
- 3) 会員との直接対話の機会を増やし新たな活動を検討する
 - ・活動推進会 ENOGU の適宜開催
 - ・会員アンケートの実施と直接訪問
 - ・各種会議の内容拡充
 - ・災害時のパレット及び関連物流機器・容器の有効活用の支援のため自治体等との連携強化
- 4) JPA マーク認定制度を充実させ、品質や安心安全のPRの新たな体制構築を目指すと共に、会員の支出に見合った公平なしくみ作りを引続き検討する
- 5) 新規会員（正会員、賛助会員、維持会員）の勧誘活動の強化

<事業計画>

2. 国際活動

- 1) アジアにおけるパレット普及を推進する(アジア地域及び国際貨物)
 - ・ APSF 加盟 10 カ国でのロードマップ 2030 策定と実施サポート
 - ・ パレットの規格・品質を担保する認定制度をアジア各国にも提案
 - ・ 関係省庁等との連携により国際的な RTI 化を推進する (委員会への参画
実証輸送の実施等)。
- 2) アジアパレットシステム連盟総会 (韓国開催) へ出席
- 3) 国際パレット会議 (中国) へ出席
- 4) その他、当会の活動に関連する国際活動を適宜実施

以上